



昭和29年の大田原市誕生から70年。
その歩みのあらましを、年表と写真でたどります。



大田原市誕生の手締め式(昭和30年)

- ▶昭和29(1954)年
大田原町・金田村・親園村合併、大田原市誕生。
大田原市、野崎村東部編入。
- ▶昭和30(1955)年
黒羽町・川西町・両郷村・須賀川村合併、
黒羽町誕生。
大田原市、西那須野町加治屋・佐久山町編入。
- ▶昭和31(1956)年
黒羽町役場庁舎新築移転。
- ▶昭和32(1957)年
湯津上村、内閣総理大臣から三分村合併勧告。
- ▶昭和35(1960)年
黒羽町公会堂完成。
- ▶昭和36(1961)年
大田原市歌制定。
- ▶昭和37(1962)年
大田原・黒羽各地区電報電話局、自動
交換機による接続方式へ移行。
栃木県立黒羽高等学校開校。
- ▶昭和38(1963)年
大田原市役所庁舎新築移転。
- ▶昭和39(1964)年
那須地区第一し尿処理場完成。
- ▶昭和40(1965)年
佐久山御殿山公園完成。
- ▶昭和41(1966)年
湯津上村、公営有線放送電話運用開始。
台風26号で東野鉄道蛇尾川鉄橋など被災。
- ▶昭和42(1967)年
黒羽町学校給食センター完成、完全給食実施。
大田原市街地、新住居表示へ変更。
大田原市ゴミ焼却場完成。
大田原地区上水道給水開始。
- ▶昭和43(1968)年
大野放牧場設置。
都市街路市役所通り開通。
東野鉄道廃線。
- ▶昭和44(1969)年
大田原市総合文化会館完成。
- ▶昭和45(1970)年
大田原地区広域消防組合設立。
大田原市交通公園完成。
- ▶昭和46(1971)年
黒羽刑務所開所。
大田原市民体育館・武道館完成。
八溝県立自然公園指定。
- ▶昭和48(1973)年
那須地区広域行政事務組合設立。
都市街路大高前通り完成。



有線放送電話(昭和41年)



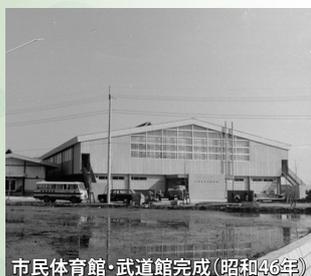
市役所通り開通(昭和43年)



東野鉄道廃線当日の花気動車と
川西小鼓笛隊(昭和43年)



交通公園開園式(昭和45年)



市民体育館・武道館完成(昭和46年)

- ▶昭和49(1974)年
ミヤコタナゴ、国天然記念物に指定。
大田原市民憲章、市の木・花・魚制定。
湯津上村公民館完成。
- ▶昭和50(1975)年
『大田原市史 前編』発刊。
湯津上村教育委員会、下侍塚古墳周溝
発掘調査実施。
- ▶昭和51(1976)年
黒羽町山村開発センター完成。
- ▶昭和52(1977)年
黒羽町・馬頭町林野大火災。
- ▶昭和53(1978)年
上石上配水場完成。
大田原市社会福祉協議会法人化。
- ▶昭和54(1979)年
『湯津上村誌』発刊。
黒羽町民体育館完成。
湯津上村立歴史民俗資料館開館。
- ▶昭和55(1980)年
大田原市休日夜間急患診療所開設。
「栃の葉国体」秋季大会開催。
- ▶昭和56(1981)年
黒羽町社会福祉協議会発足。
大田原市立図書館完成。
第1回大田原ふるさと祭り開催。
大田原地域職業訓練センター完成。
- ▶昭和57(1982)年
『黒羽町誌』発刊。
『大田原市史 後編』発刊。
- ▶昭和58(1983)年
大田原市保健センター完成。
- ▶昭和59(1984)年
大田原ふるさと祭りを「与まつり」に改称。
大田原市、岡山県井原市と友好親善都市盟約。
- ▶昭和60(1985)年
黒羽町民の歌・黒羽音頭制定。
- ▶昭和61(1986)年
大田原市清掃センター完成。
台風10号の豪雨による大水害発生。
- ▶昭和62(1987)年
青少年育成湯津上村民会議設立。
- ▶昭和63(1988)年
黒羽町物産センター・くらしの館オープン。
第1回大田原全国マラソン大会開催。
湯津上村制施行100周年記念式典。



湯津上村公民館完成(昭和49年)



黒羽町山村開発センター完成(昭和51年)



「栃の葉国体」相撲開会式(昭和55年)



第1回大田原ふるさとまつり(昭和56年)



保健センター完成(昭和58年)



与まつり(昭和59年)



天狗王国ゆづかみ独立宣言(平成元年)



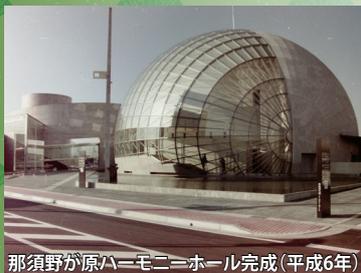
日本三古碑サミット(平成2年)



なす風土記の丘湯津上資料館開館式(平成4年)



大捻縄引(平成5年)



那須野が原ハーフマニホール完成(平成6年)



大田原市ふれあいの丘オープン(平成7年)



那須水害発生時の永昌橋(平成10年)

- ▶平成元(1989)年
「天狗王国ゆづかみ」独立宣言。
黒羽芭蕉の館・芭蕉の広場・芭蕉の道完成。
第1回黒羽芭蕉の里全国俳句大会開催。
第1回大田原市産業文化祭開催。
- ▶平成2(1990)年
第1回大田原市高校生海外派遣事業・
小学生国内交流事業実施。
黒羽町ポッポ農園オープン。
湯津上村、日本三古碑サミット開催。
- ▶平成3(1991)年
大田原市福祉センター完成。
第1回大田原市中学生国内交流事業開始。
湯津上村、湯けむりふれあいの丘完成。
黒羽町、第4回奥の細道サミット開催。
- ▶平成4(1992)年
栃木県立なす風土記の丘資料館湯津上館開館。
大田原市屋内温水プール完成。
大田原市営バス運行開始。
- ▶平成5(1993)年
第1回芭蕉の里紫陽花まつり開催。
大捻縄引、国無形民俗文化財に選択。
- ▶平成6(1994)年
黒羽町交流促進センター若杉山荘完成。
那須野が原ハーモニーホール完成。
大田原市環境保全都市宣言。
- ▶平成7(1995)年
国際医療福祉大学開学。
大田原市健康長寿都市宣言。
大田原市ふれあいの丘オープン。
黒羽町文化複合センターピアートホール完成。
- ▶平成8(1996)年
栃木県立県北体育館開館。
第1回全国竹芸展開催。
- ▶平成9(1997)年
第1回那須野が原彫刻シンポジウム開催。
- ▶平成10(1998)年
与一の里・大田原市イメージキャラクター「与一くん」およびロゴマーク決定。
那須地区集中豪雨で那須水害発生。
- ▶平成11(1999)年
八溝地域集中豪雨による2年連続の大水害発生。
明神トンネル開通。
- ▶平成13(2001)年
大田原市生涯学習都市宣言。
栃木県ながかわ水遊園開園。
- ▶平成14(2002)年
大田原市、第18回平和の日・那須の集い
(後の「文学サロン」)開催。
黒羽町学校給食センター完成。
- ▶平成15(2003)年
広域クリーンセンター大田原稼働開始。
大田原グリーンパークオープン。
大田原市・湯津上村・黒羽町合併協議会設置。
- ▶平成16(2004)年
道の駅那須与一の郷オープン。
湯津上村役場庁舎新築移転。
黒羽町、ウエストコピナ市と姉妹都市提携。
- ▶平成17(2005)年
勝村蒼鳳氏、人間国宝(竹工芸)に認定。
大田原市・湯津上村・黒羽町合併、新生
大田原市誕生。
- ▶平成18(2006)年
「王将戦七番勝負」初開催。
新「大田原市歌」発表。

- ▶平成19(2007)年
国道294号稲沢・寒井バイパス開通。
ウエストコピナ市と姉妹都市再提携。
那須与一伝承館開館、道の駅那須与一の郷全館完成。
美原公園陸上競技場完成。
- ▶平成20(2008)年
ふれあいの丘天文館開館。
黒羽庁舎新築完成。
- ▶平成21(2009)年
国道461号奥沢バイパス開通。
国道400号大田原西那須野バイパス全線開通。
市道木佐美南方線木佐美南方トンネル開通。
- ▶平成22(2010)年
両郷地区コミュニティセンター業務開始。
新黒羽中学校開校・温水プール完成。
- ▶平成23(2011)年
東日本大震災で市役所本庁舎などが被災。
- ▶平成24(2012)年
大田原市役所仮設庁舎完成。
那須赤十字病院開院。
藤沼昇氏、人間国宝(竹工芸)に認定。
- ▶平成25(2013)年
那須野が原ハーモニーホールのパイ
プオルガン完成。
中心市街地再開発ビル「トコトコ大田原」完成。
- ▶平成26(2014)年
大田原・湯津上・黒羽各地区成人式、初の合同開催。
八溝山周辺地域定住自立圏形成。
那須神社、国重要文化財に指定。
おくのほそ道の風景地八幡宮(那須神
社境内)、国名勝に指定。
大田原市役所本庁舎解体。
- ▶平成27(2015)年
全日本自転車競技選手権大会開催。
那須地区消防本部・大田原消防署新庁舎完成。
- ▶平成29(2017)年
大田原市教育支援センター開設。
大雄寺、国重要文化財に指定。
- ▶平成30(2018)年
小中一貫教育スタート。
西郷神社ほか那須野が原の開拓関連
文化財、日本遺産に認定。
- ▶令和元(2019)年
大田原市役所新庁舎完成。
- ▶令和2(2020)年
新型コロナウイルス感染症大流行。
狭原ラウンドアバウト(環状交差点)供用開始。
湯津上地内で推定東山道駅路の側溝を発見。
- ▶令和3(2021)年
市内小中学校でGIGAスクール開始。
新型コロナウイルス公費負担ワクチ
ン接種開始。
栃木県教育委員会、上侍塚古墳発掘調査開始。
- ▶令和4(2022)年
「いちご一会とちぎ国体」・「いちご一
会とちぎ大会」開催。
- ▶令和5(2023)年
栃木県那須庁舎新庁舎完成。
与一まつり、4年ぶりの開催。
- ▶令和6(2024)年
市制施行70周年記念行事開催。
全国将棋サミット2024開催。



栃木県ながかわ水遊園開園(平成13年)



大田原市合併記念式典(平成17年)



那須与一伝承館開館(平成19年)



大田原市ふれあいの丘天文館開館式(平成20年)



東日本大震災で被災した市役所旧本庁舎(平成23年)



市役所新庁舎完成(令和元年)



「いちご一会とちぎ国体」ハンドボール競技(令和4年)



与一まつり、4年ぶりの開催(令和5年)